

# 基板プリント 試作品、48時間で納品 電子技販、ネット受注活用

プリント基板製造の電子技販（大阪府吹田市、北山和弘社長）は注文から四十八時間以内にプリント基板の試作品を納品するサービスを始めた。従来は半月から一カ月ほどの納期が必要だったが、インターネットを使った受注や協力工場の活用などで大幅に短縮した。開発期間を短縮したい電機大手などから年間一億円の受注を見込む。顧客から専用サイトを通じて、プリント基板の設計図と必要枚数、希望する発注金額を受信。午後

三時までなら同日夕方までに受注の可否を返答する。受注後、CAD（コンピュータ）による設計）作業とプリント基板の製造をそれぞれ半日以内で済ませ、同時並行で部品を調達、さらに半日で基板実装し納品する。専門の担当者を置いて受注に対応するほか、自社工場以外に複数の協力工場を利用することで納期を短縮する。

大手メーカーは電気製品などに組み込むプリント基板の試作を外注することが多い。ただ発注量